WordPress ボトムアップ

WordPress以前の基礎から企業サイトの基本まで

version 1.0

toiee Lab LIVE™ textbook for Learning Facilitator

© 2017 toiee Lab (toiee.jp)

イントロ

講座の導入です。講座のゴールなどに触れます。

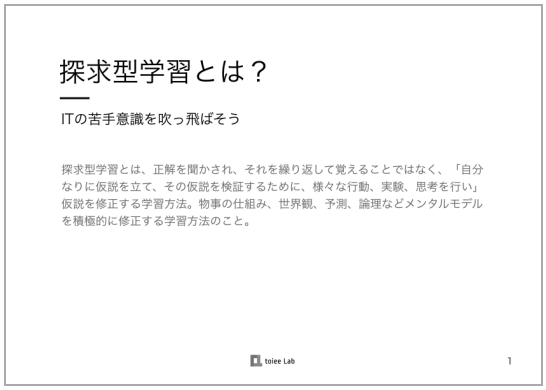
開始	終了	所用時間
0:00	0:05	5min

設計意図

- 講座のゴールを共有することで、ゴールへのフィードバックによる学習を促進する
- 講座の意図は、以下の通り
  - 基礎中の基礎を学ぶ
  - ブラウザ、アドレスバー、表示の仕組み、WordPressの触り方
  - なれること、メンタルモデルを作ること
- キーワードは、たった一つ「探求して確かめる」をインプットするなど、簡潔な伝え方をして「安心して、学び始める」ことができるようにする
- 講座参加者は「苦手意識、学習レベル -1」と想定する

ワークの進行

1. 話す



- 今日の講座では、基礎中の基礎
- 本当に苦手、自他共に認める「IT無理、ダメ」という人向け
- スッキリ、サッパリしてもらうことが目的
- 基礎中の基礎、WordPress以前を行う
- 今日のポイントはたった１つ
  - 「探求して、確かめる」
- この繰り返しで、苦手を克服する

> **ポイント**
>
> - 長い自己紹介などはせず、短く説明して、スムーズに次のワークに入る
> - ゆっくり、落ち着いて話す

ウォーミングアップ

学習に取り組みやすくするための、ウォーミングアップのワークです。

開始	終了	所用時間
0:05	0:25	20min

設計意図

- 学習を促進するためには、リラックして、新しい情報を取り込む状態にセットすることが必要
- Good & New によって上記の状態を作り出す。また、他の参加者と打ち解けるために行う。
- 積極的な拍手を促すことで、チーム学習やポジティブな感情を持ってもらう
- Think & Listenで、アンテナを張った状態になる。自分がわからないことを理解する。各学習者が「期待する結果」を設定することで、探求を促す
- わからないことを、わからないと表明することの大切さを促すことにつなげる

ワークの進行

1. Good & New

- 学習モードに入るために、ウォーミングアップのワークをする
- 端的に、「良く」て、「新しかった」ことを説明するワーク
- 些細なことで構わない
- 例) 今日朝食べたサンドイッチが美味しかったです

> **ポイント**
>
> - クッシュボールが必要
> - やり方をデモして示すと、学習者にとって理解しやすい
> - なんと言えば良いかわからない学習者がいるときは、「些細なことでもいいですよ」「今日の朝何かなかったですか？」などと介入する

2. Think & Listen

- Think & Listenは、思いつくまま、頭によぎったことを流れるように話すワーク
- 支離滅裂になっても構わないので、話し続けてもらう

- ペアになってもらい、話し手と聴き手を決めてもらう
  - このワークでは、資料を見ながら、話してもらう
  - 「そもそも・・・がわからない」と話し始めてもらう

> **ポイント**
>
> - 説明しきってからではなく、「まずはペアになってください」など、行動をさせながら説明すると、説明しやすい
> - デモをすると、学習者がThink & Listenの取り組み方を理解しやすい
> - 話し手と聴き手を決めてもらう時、「朝早く起きた方から」などとこちらが言うとスムーズに決まりやすい

3. 発表する

- 学習者(2、3人)に発表してもらう
  - どんな話になったか？
  - 何がわからないという話になったか？

4. まとめ

- ワークをまとめていく
- 学習者は、様々なことを吸収できる状態になっている、アンテナが立っている状態になっている
- 今日終わる頃には、疑問が解けていくからお楽しみにと伝える

> **ポイント**
>
> - これから探求していこう、疑問が解けていくから大丈夫と言って、安心してもらいつつ、期待を高める

「探求して確かめる」を確かめる

この講座のポイントである、「探求して確かめる」を練習する。URLとWebページの関係を、実験を通して理解するワーク。

開始	終了	所用時間
0:25	1:10	45min

設計意図

- ITは「メンタルモデル」を自分で作り出せるようにならないと、使えるようにはならない
- メンタルモデルを自在に構築し、修正する方法は「探求すること」にある
- ここでは、URLとページの表示を使って「探求して確かめる」の練習をする
- google や yahoo 、検索、リンククリック後などに、アドレスバーを確認するように促して、メンタルモデルを作り出す手伝いをする
- さらには、「メンタルモデルが作れたプロセスを見るように」させる

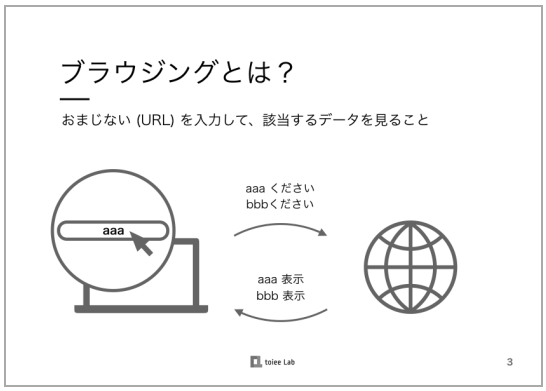
ワークの進行

1. 説明する

- 「探求して確かめる」を練習するワーク
- 今までのITの学び方が変わるかもしれない、と伝える

2. ワークの説明

- チームに分かれてもらう
  - 参加人数によって、変化するが、基本的には1チーム3人
- 解説を読んでもらう
  - Webページは「住所」を持っている」。アドレスバーという
  - ページの一つ一つ、URLが違う
  - ブラウザのURLバーに表示される
- 探求して、確認する
  - 実験をする



    - 実験を考えてもらう

> **ポイント**
>
> - 実験を考えてもらって、仕組みを確認してもらう
> - 実験を考えることが難しい可能性があるので、最初に一つ、実験を考えるデモをするか、みんなで一つ実験を考えてみる
> - デモをする場合、実験は「よくできた例」でなくて構わない。自由な発想を引き出すようなデモができると、なお良い。

3. 探求

- 5分時間を計る
- 解説を読む
    - 資料を読んでもらう
- 実験を考えてもらう

> **ポイント**
>
> - 実験を考えるサポートが必要な場合、質問をして探求を促す。「今確かめたいことは何ですか」「どうすれば確認できそうですか？」「例えば・・・」

4. 振り返り

- ワークを途中で止めて振り返りをする
- チームをシャッフルする
- どのような実験を考えたか、お互い教え合ってもらう

5. 探求を続ける

- 10分時間を計る
- 探求を続けてもらう

> **ポイント**
>
> - 探求の様子を見て、時間を伸ばす、短くするを判断する。ここでは、「探求して、確かめる」を練習できていればOK

5. 発表

- 気づきは何か？訊く
- 今の状態は？と訊く

ブラウザをマスターする

ブラウザの基本的な機能をマスターする。「探求して確かめる」を実践するワーク。

開始	終了	所用時間
1:10	1:35	25min

設計意図

- WordPress はブラウザ上で操作するため、ブラウザについて理解しておく必要がある
- 意外にも、ブラウザの操作にもたついたり、混乱する人が多いので、しっかりと探求して理解する
- 様々なブラウザの機能を探求して、マスターする
- 単にブラウザを学ぶだけでなく、「探求して確かめる」を、さらに実践する機会とする

ワークの進行

1. 説明する

- ブラウザをマスターするワークをしていく
- WordPressを編集するときにも、ブラウザをうまく使いこなすことが大事
- 探求していこう。「探求して、確かめる」を実践しよう

2. 探求して確かめる

- チームで取り組む
- 5分計る
- 探求して確かめるを実践してもらう

> **ポイント**
>
> - 探求の仕方を考えさせる。質問をして探求を促す。
> 「今確かめたいことは何ですか」「どうすれば確認できそうですか？」「例えば・・・」

3. 振り返り

- どんな探求の仕方をしていたか？訊く
- 今の探求方法で、ブラウザマスターできそうか？訊く

4. 探求

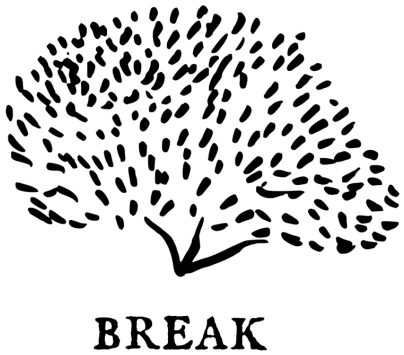
- 探求を続けてもらう

5. 振り返り

- 納得感あったか？
- どんな探求をすると、納得感を得る探求ができるか？
- 探求方法について考えてみてどう変わったか？

休憩

開始	終了	所用時間
1:35	1:45	10min



ログイン、ログアウト、ユーザーの概念を学ぶ

ログイン、ログアウト作業を通して、ユーザー状態と、管理者状態の違いを発見する。

開始	終了	所用時間
1:45	2:15	30min

設計意図

- WordPressでは「今接続している状態」が、ログインしているか、していないか？を意識的になっておく必要がある
- ログインしている時と、していないときでの見た目の違いを探求し、意識し続けることを学ぶ
- また、ログイン、ログアウトの探求を通じて、ユーザーの概念を学ぶ
- 学習能力面の強化として、探求の仕方に注目して、探求の仕方を改善していく意識を持つ

ワークの進行

1. 説明する

- ログイン・ログアウトを探求するワーク
- これまでも行ってきた、「探求して確かめる」をここでも行ってもらう
- ログイン、ログアウトしている状態の違いについて実験、調査する

> **ポイント**
>
> - 資料があるものの、一度、「ログイン・ログアウト」するところをデモすると素早く「ログイン、ログアウト」を行う方法を、学習者が理解することができる

2. 探求

- チームで取り組む
- 15分探求してもらう

> **ポイント**

> - 様子を見て、必要そうであれば、ワークを止めて振り返りをする。「どのように探求すれば良いか？」考えてもらったり、「今わかっていること、わからないこと」を確認する

3. 発表

- 学習者に説明をしてもらう
  - ログイン、ログアウトしている状態の違いについて
  - どんな実験をしたか？

4. 振り返り

- 振り返ってもらう
  - どんな時に、うまく探求できたか？理解が深まったか？
  - よかった時の探求を振り返る
  - 逆にうまくいかない時、どうしたか？

> **ポイント**
>
> - 取り組み方、探求の仕方に注目してもらうように質問する

アドレスバーを見る

アドレスバーに注目することを通して、ここまでのワークで学んだことの確認と振り返りを行う。

開始	終了	所用時間
2:15	2:35	20min

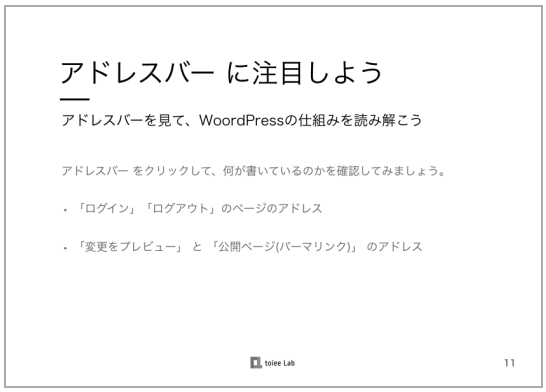
設計意図

- ここまで学んだ知識を整理する
- 探求して確かめるができるようになっていることに気づく
- 探求する時に予測が立つようになっていることに気づく
- また、WordPress 特有のURL (wp-adminなど) に気づく
- ページと投稿、URLの関係についても気づく準備をする

ワークの進行

1. 説明する

- ここまでのまとめになるワーク
- 資料に書かれている内容をこなして、アドレスバーを見たときに、納得出来るか？を確かめる



2. ワークをする

- チームで取り組む
- 資料に書かれた内容を行う
  - URLの変化を見る

3. 振り返り

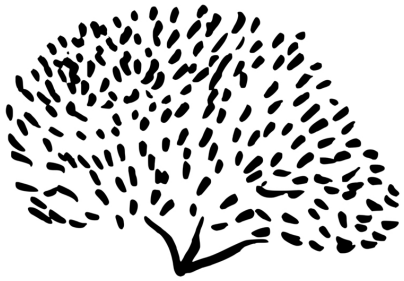
- ワークを行った結果、URLが変化している時に納得感はあったか？
- 普段、ブラウザを使う時の感覚と、今使っている時

の感覚はどう違うか？
- どんな風に取り組めば良いか？

> **ポイント**
>
> - 探求の仕方に注意を向けさせる。「ここまでどのように探求してきたか？」

休憩

1時間の休憩をとる。お昼ご飯をこの間に食べてもらうなどする。



BREAK

CMSのメンタルモデルを作る

ここまでで、すべてのワークのおよそ半分が終了。CMSの仕組みの大枠をつかむために、似た仕組みのものを考えるワーク。

開始	終了	所用時間
0:00	0:30	30min

設計意図

- WordPress の構造を CMS (Content Management System)の観点から理解する
- CMSの仕組みを理解することで、WordPressを操作した時に、仕組みを理解しながら操作することができることを狙っている
- 普段の生活で、CMSに触れているので、それらを引っ張り出して、理解する（フェミル推定）

ワークの進行

1. 説明する

- CMSがどういうものか考える
- CMSの仕組みを、例を出しながら、簡単に説明する
- 似た仕組みのものはないか、考えてもらう
  - 例えば、似た仕組みのアプリは何かないか？

> **ポイント**
>
> - CMSについては事前に理解を深めておくと、進行がしやすい
> - CMSの説明の練習を十分にしておくこと

2. チームで話し合う

- 資料を見ながら、CMSと似た仕組みのものを考えてもらうことでCMSの概要をつかむ

3. 発表

- 学習者に、CMSについて、自分の理解を話してもらう

- どんなものが似ていると考えたか？など

> **ポイント**
>
> - ここで重要なのは、CMSを完璧に理解することではない
> - どういう仕組みのものか？をなんとなくイメージできれば、次以降のワークでWordPressを操作する時に理解がさらに深まる

WordPressの操作を通して、CMS・WordPressについての理解を深める

前のワークで、WordPressの仕組みの大枠をつかんでいる状態。実際に操作する中で、CMS・WPについての理解を深める。

開始	終了	所用時間
0:30	1:00	30min

設計意図

- WordPressの概要をつかむ
- 編集画面を見たときに、実際の画面がどうなっているか、イメージする練習になる
- WordPressの全体像を把握するように探求すると良い
- 前提知識があると探求が進む
- 操作を単に行うのではなく、なぜ、この操作をこの手順で行っているか？をCMSの知識などを総動員して、想像する
- 想像することが、メンタルモデルを作ることになる

ワークの進行

1. 説明する

- 実際にWordPressを操作する中で、CMS、WordPressについての理解を深めていく
- 資料があるので、資料を見ながら探求していく

2. 探求する

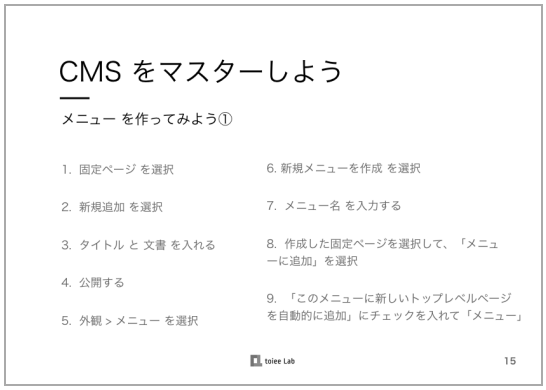
- 20分計る
- 資料に書かれた作業を行う
- CMSの仕組みを思い出しながら、こなしてもらう

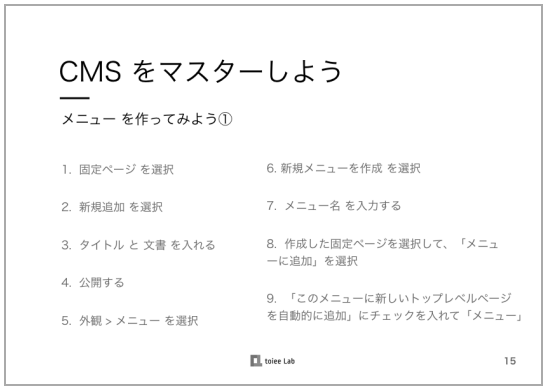
3. 発表

- 発表する
  - WordPressはどんな仕組みだったか？
  - WordPressでどんなことができそうか？

3. 振り返り

- 振り返る
  - どうやってWordPressの仕組みを理解したか？
  - どうすれば、もっと理解できそうか？





4つの要素

WordPressの4つの要素について探求することで、WordPressの仕組みをさらに理解する。

開始	終了	所用時間
1:00	1:30	30min

設計意図

- WordPressの基本的なパーツである４つの要素を理解する
- さらに各パーツの細かい操作、機能を探求する
- 探求自体を改善することを促し、深い探求を促す
- その結果、WordPressをさらに理解することになる

ワークの進行

1. 説明する

- WordPressの概要を理解できたところで、さらに理解を深めるために4つの要素について探求する
- 4つの要素を設定することで、WordPressで様々なサイトを作ることができる
- 4つの要素とは、固定ページ、投稿、メニュー、ウィジェット
- それぞれ探求していく

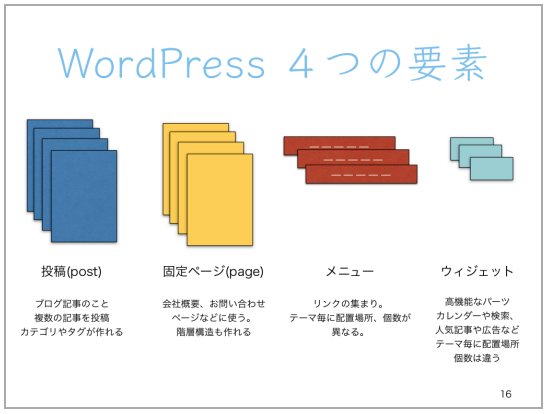
2. 探求する

- 15分計る
- 資料を見ながら探求する

> **ポイント**
>
> - ここまでで、投稿と、固定ページ、メニューはすでに触れているので、あまり「探求して、確かめる」をしないかもしれない。
> - 実際にはページの属性など、まだ探求していない機能があるので、探求してもらうように促す。

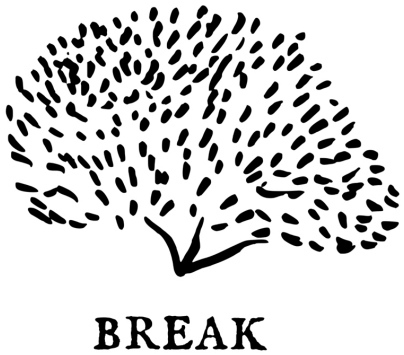
3. 発表

- 発表する
  - 探求してわかったこと
  - 4つの仕組みについての理解を学習者に話してもらう



休憩

開始	終了	所用時間
1:30	1:40	10min



どのように設計するか？

Webサイトを作る場合の設定と、ブログを作る場合の設定を読んで、実際に行ってみて、なぜそのように設定するのか？を話し合うワーク。

開始	終了	所用時間
1:40	2:10	30min

設計意図

- 4つの要素を使って、Webサイトを作れると思えるようになる
- ここまで学んだことをまとめる
- 資料を読みながら、進めることで「自分で考えて、実験するアプローチ」でマニュあるを使うことを学ぶ

ワークの進行

1. 説明する

- ここまで学んだことをまとめていく
- 資料に、WordPressをWebサイトとして使用する際の設定と、ブログとして使用する際の設定が書かれている
- 実際に設定してみよう。設定できたと思ったら、資料に書かれているサイトにアクセスして、同じになっているか確認してみよう
- なぜそう設定するかについて、後で説明してもらうので、そのつもりで

2. 探求して、話し合う

- 資料を読んで、なぜそう設定するのか？を探求して、話し合う
  - Webサイトの場合の設定
  - ブログの場合の設定

3. 発表する

- 発表して、意見をシェアする

Sydneyで探求する

アドレスバーに注目することを通して、ここまでのワークで学んだことの確認と振り返りを行います。

開始	終了	所用時間
2:10	2:40	30min

設計意図

- ここまで学んだことを、企業サイトを実際に一から作ることを通じて、統合する
- 企業サイトを作るための手順で、フロントページという概念を理解する

ワークの進行

1. 説明する

- 1日の締めくくる集大成のワーク
- 実際に企業サイトを一から作ってもらう
- 今日学んだことを思い出しながら作ってもらう

2. 探求

- Sydneyテーマを使って、自分の企業サイトを作ってもらう
- 余力のある人は、他の機能も探求して、サイトを設計してみる

> **ポイント**
>
> - 基本的には個人で探求してもらうが、場合によって、チームで探求してもらう

3. 発表

- できたものを発表する、見せる
- どうやって作ったのかを説明してもらう

まとめ

アドレスバーに注目することを通して、ここまでのワークで学んだことの確認と振り返りを行います。

開始	終了	所用時間
2:40	2:55	15min

設計意図

- 探求の仕方について考えることが大切と思える
- WordPressについての理解が深まっていることに気づく
- 苦手意識が薄れている、消えていることを感じる

ワークの進行

1. 説明する

- 最後に、1日のまとめをする
- Think & Listenをする
  - 今わかっていること、まだわからないことをもう一度明確にする
  - そうすることで、自分の成長を実感できるはず

> **ポイント**
>
> - Think & Listenのやり方は憶えているか？確認してからワークに入る

2. Think & Listen

- わかっていること、わからないこと
- 最初に使った資料を使いながら話す

3. シェアする

- Think & Listenした結果、講座が始まった頃と比べて、どれくらいのことがわかったか？話して

もらう

4. まとめ

- 学び、気づき、発見を学習者から聴く
- 1日を振り返りながら、まとめをして、講座をしめる

> **ポイント** - できるようになったことだけでなく、探求の仕方についても振り返ってもらう - あらかじめ用意しておいた台詞を使うのではなく、その日起こったことに触れながらまとめると良い